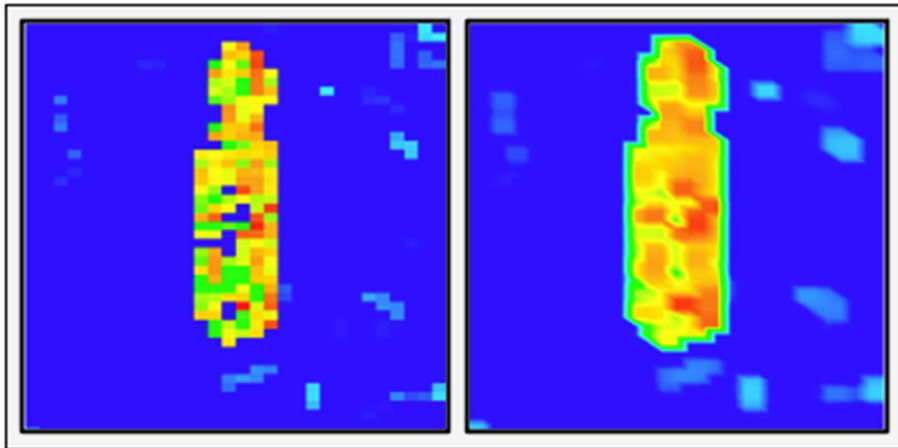


RSim 3.0.0 リリースのご案内

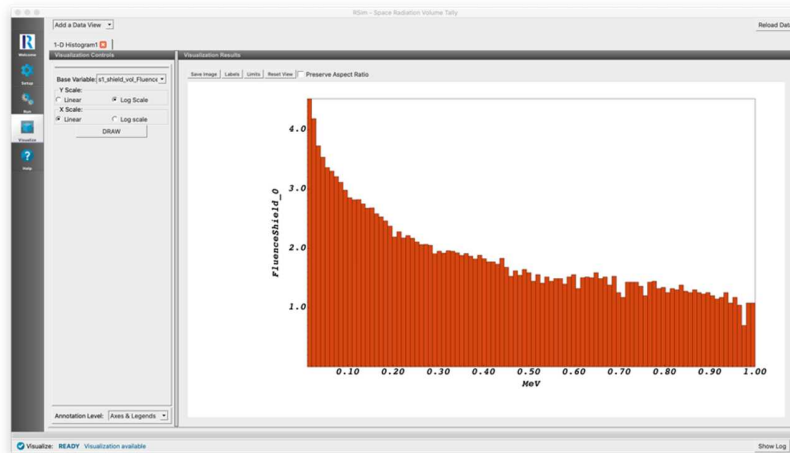
コロラド州ボルダー（2021年2月24日）：Tech-X Corporationは、ユーザーフレンドリーなインターフェースを備えたクロスプラットフォームの放射線シミュレーションツールRSim3.0.0をリリースしました。RSimによるシミュレーションで放射線量の予測と放射線遮蔽の開発をより効果的に行うことが可能です。包括的な設計と直感的なユーザーインターフェースにより、C++入力コマンドを習得したり、GRASやGeant4などの放射線コードへの独自のアクセスを保護したりすることなくRSimを使用できます。RSimの最新バージョンでは、使いやすさが更に向上し、視覚化、モデリング、および統計分析機能に対する複数の拡張機能が含まれています。



RSim 3.0.0におけるメッシュタリーのゾーナル（左）からノードル（右）への表示切替

統計分析、ヒストグラム、プローブ診断機能の向上

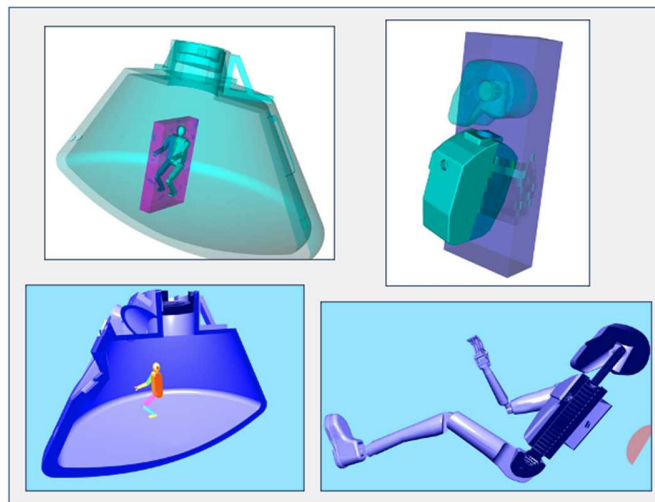
RSimの最も一般的なアプリケーションは、放射線に関する過酷な環境での放射線作業員や繊細な機器の遮蔽の設計です。これには開発チームが精度の向上を継続的に探す必要があります。RSim 3.0.0では、ソースバイアスとジオメトリバイアスの両方が実装されており、シミュレーション時間を最小限に抑えながら、シミュレーション結果の不確実性を大幅に低減できます。データ分析の別のオプションを提供するためにヒストグラムが追加されています。また、プローブ診断の導入により、さまざまな場所でさまざまな材料を使用して放射線環境をプローブできるようになり、対象となる状況のより包括的な全体像が得られます。



RSim 3.0.0 におけるフルエンスの1D ヒストグラム表示

シミュレーション可視化機能の増強

RSim 3.0.0 によるシミュレーションでエネルギー付与やフラックスなどのたくさんのデータが作成されます。このバージョンでは視覚化機能が大幅に強化されており、3D シミュレーションデータの視覚的調査によってシミュレーション結果をさらによく理解することができます。RSim 3.0.0 は、クリップ、不透明度、対数スケール、およびサーフェス数の個別のプロットコントロールを備えています。また、スライスとスケール制御がセットアップインターフェースに追加され、シミュレーションセットアップ中により多くのオプションを提供いたします。



上：クリップ、不透明度、対数スケール、およびサーフェス数の個別のコントロールを駆使したシミュレーションデータの可視化。下：スケーリングスライダーによる形状の可視化。

【お問合せ先】 株式会社エーイーティー 新町 万里子
 〒215-0033 川崎市麻生区栗木 2-7-6
 info@aetjapan.com
 TEL：044-980-2525（営業部ダイヤルイン）
 FAX：044-980-1515